

豊中市議会議員(保守系市民派・無所属)

# 福岡まさき

平成26年3月 後援会事務局発行 市政だより

三月定例会



## これで解る「豊中市政の今」、「今後の課題」!

### 「新政とよなか議員団」を代表して

私は所属する「新政とよなか議員団」の一員として、特定の政党や利益団体の支持を受けず政策提言型議員として市政改革に取り組んできました。

これまで、浅利市政の多くの実績に貢献し、さらなる市政改革を推し進めるべく今回の代表質問で質しました。以下は市政全般に対して行った全質問、24項目の一部です。 (詳しい質問内容は2p以降に)

- ❖ 緊急通報体制と災害備蓄品マニュアル
- ❖ 女性の能力活用への取り組み
- ❖ 豊中市の資産有効活用の手だて
- ❖ 千里中央を取り巻く状況変化
- ❖ 太陽光発電について(温室効果ガス削減)
- ❖ 資源ごみ持ち去り禁止条例について
- ❖ ものづくり集積地域の課題について
- ❖ 地域自治の取り組みについて

- ❖ 健康診査の充実と受診率の向上
- ❖ 幼保一元化による認定こども園制度
- ❖ 総合的な空き家対策(今後の課題)
- ❖ 公共インフラ老朽化に対する取組み
- ❖ LED照明について(電力料とCO2削減)
- ❖ 市営住宅のあり方について
- ❖ 公金の運用(これからの効率的運用手法)
- ❖ とよなか水未来構想について
- ❖ 新教育委員会制度(豊中の公教育…)
- ❖ 赤ちゃん先生(新しい情操・道徳教育)
- ❖ 都市部における子どもの遊び場
- ❖ 高校野球発祥の地その後の取組み
- ❖ 市長の三期目の決意について

※「福岡まさき」の会派代表質問から「豊中市政」が見えてくる!

↓ 詳細内容はインターネット録画で!

### 「新政とよなか」議員団控え室

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号  
TEL 6858-2620(直通) FAX 6852-2384

### 自宅

〒560-0082 豊中市新千里東町2-7 C27-1109  
TEL 6833-7705 FAX 6831-1281  
E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp

(豊中市ホームページ)からお入りください

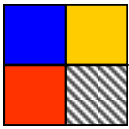
⇒豊中市議会⇒インターネット議会中継

⇒議会中継(ライブ・録画中継)

⇒代表質問(会派名、新政とよなか)

⇒(3月定例会、福岡正輝)media playerで見る





# 【福岡まさき】

## 会派代表質問

### 「緊急通報体制」を確実に

緊急非常時に市民に対して行う警報の伝達は、一刻も早く正確で確実な情報を提供し、市民の生命と財産、安心と安全に資するものでなければなりません。現在では防災行政無線による拡声器や広報車、市のホームページやメール配信など様々な手段がありますが、決定的なものではなく、何種類かの内のどれかで伝わればという状況です。しかし、市民に対してはより精度と確実性の高い伝達手段が求められています。

以前からこの点を指摘し、防災協定を結んでいるFM千里放送局を使った全国でも最新で信頼度の高い伝達手段を提唱し、取り入れるよう要請しています。

### 女性の能力を最大活用すべき

わが国は、近い将来大幅な人口減少社会を受け入れなければならない現実に直面しています。このままでは世界3位の経済大国であるわが国は、国の富が急速に減少するほか、世界の中での相対的地盤沈下に見舞われます。

この問題の解決策の一つは女性の持つ能力の活用です。意欲と能力を持つ女性の活用はこの国が今できる最高の労働力確保とともに、経済力低下に歯止めをかけることにもなります。女性の地位向上とともに、産休や育児休暇明けの女性が働きやすく、また、元の職場への復職の道を開く制度設計や支援制度の拡充が求められます。豊中市役所を例にとり、全市的にも女性が働きやすい環境づくりや子育て支援策に積極的に取り組んでいます。

「福岡まさき」は豊中を変える政策集団「新政とよなか議員団」の一員として日々活動しています。「政治は結果とスピード」を信条として確実な成果をめざします。

### 「地域自治組織」と活性化

年々変化する価値観の多様化や権利意識、複雑化する人間関係の中で地域の課題は、地域のことをよく知る住民が、民主的な議論やフェース・ツー・フェイスでの協働作業、地域特性に応じた主体的な取組みにより解決することが地域にとって重要です。こうした地道な活動の繰り返しにより、希薄化した人間関係の改善や地域のコミュニティが醸成され地域力として定着するものです。

こうした考えのもと、一昨年に条例化された「地域自治推進条例」の市内での第一号として新千里東町の「地域自治組織」が出来ました。2年目を迎えたこの地域では地域の課題解決やまちづくりが、地域の方々に組織された多くの役員や委員で民主的に議論され決定されています。こうした方式が定着してきたことで、現場を十分知らない役所が間違った判断で「まちづくり」を主導することもなく、また、一部の利益代弁者(議員等)が間違った判断で役所を動かすこともなくなります。(東町でも全体説明できない口利きや一方的な権利意識で町が動かない事例が教訓となっています)

地域自治組織はみんなで参加のまちづくりを進める新しいシステムで、市内の他の校区にも広まりつつあります。



# 「ほんの一部です」



## 総合的空き家対策に確実な実績

増え続ける空き家が現在では豊中市内全住宅の15%にもなっており、今後の少子・高齢化でますます増加するものと考えられます。これまでも住宅環境都市としてのブランドイメージ向上のため過密密集地域（豊南町や庄内地区など一部）での老朽危険家屋等の除却費補助や緑が丘地区での地区計画制度導入を条例化して推進してきました。

今回は、将来、空き家や老朽危険家屋として顕在化する可能性の住宅について制度改正を提案したものです。2000年以前に建てられた4号建築物（木造の平屋及び2階建て等）については、その7割に検査済み証がないと言われています。こうした住宅は増築、耐震補強の工事に支障があるほか、適法に完成しているか不明のままでは売却が難しく、相続物件の増加がこの問題に拍車をかけると言われているため、先進的な方法で課題解決に取り組もうとしています。

## 公金の運用に道を開く

自治体が管理・運用する公金は、「歳計現金」や「基金の積立金」などがありますが、積立基金は、そもそも基金の設立目的が「特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金運用」を計画的に出来る資金です。

こうした資金の運用に取り組んでいない実態を指摘し改善を求めました。特に基金繰り入れが財源対策として常態化している現状に対し市は改めると答弁。

これにより、13の基金合計151億円が本来あるべき姿の運用に改められることから、今後は大きな運用利益が市の財務体質の改善と強化にも役立つことになり、貢献できたことをうれしく思います。

## 「赤ちゃん先生」で道徳・情操教育を

赤ちゃん先生プロジェクトは、0歳から3歳までの子どもが先生となって教育機関や高齢者施設などにママと一緒に訪問し、赤ちゃん先生クラスを開催します。

授業では、妊娠から出産までの道のを「ママ講師」に語ってもらい、自分自身の成長にもたくさんの愛情が注がれてきたのだと知ります。この事から「自分は特別な存在」だと認識することで、隣の友達も自分と同じように「大切な存在」だと気づくことが多いと言われています。こうした「自己肯定感」で人間が本来持っている優しさやいたわり、我慢することや自分に自信を持つことが出来るのです。

先日も神戸市立のある中学校で授業を視察してきました。2年生6クラスの半分が武道用体育館に集まり、12組の「赤ちゃん先生とママ講師」による授業が始まります。中学生たちは、最初こそ恥ずかしそうな表情でしたが、抱っこしたり、おむつの交換や着替え、中にはおんぶひもを持ち出し赤ちゃんを背負い、何とも言えない表情であやし始めます。



この中学校では3年間「命の授業や乳幼児とのふれあい実践」を家庭科、道徳の時間の一部を活用して取り組んでおり、インタビューした先生によると、思春期のぶっきらぼうなあんな顔をして笑うんだ、こんな優しいところもあるんだ、という新発見は通常の公教育カリキュラムでは得られないものだとお話しされたのが印象的でした。

豊中の公教育でも実現するよう教育委員会には、各地での視察を要請し、豊中市立の小・中学校でもぜひ実践いただきたいと要請しました。

## 3月定例会 ～ 他にもこんなことが …

### ◇ 真の「教育文化都市」へ

教育委員会制度が発足してから半世紀以上たつ現在、教育委員会制度がいま、大きくクローズアップされています。いじめや体罰といった教育問題への批判、責任所在の不明確、教育委員会審議の形骸化、危機管理能力の不足などが指摘され、その役割が今問われています。

政府は、今国会で法制化へと動いています。改革案では従来の教育委員長と教育長を統合した新「教育長」を新設し、首長が任免することや、首長が主催し、新「教育長」や有識者らで構成する「総合教育施設会議(仮称)」をつくり、教育行政の大綱的な方針策定や重要案件を協議します。

法案化するまでには、紆余曲折があるものの、近い将来法制化されることは間違いないと思われます。本定例会で市は、制度が変わっても、首長と教育委員会とが連携を密にし、教育行政を推進していくとの答弁がありました。今回の制度改革で問われている点を十分に認識し、豊中市の教育行政が市長と教育委員会の下で、市民に対する責任ある行政を進めて頂くよう意見、要望をしました。真の「教育文化都市」実現はここから始まります。

### ◇ 千里中央が路上喫煙禁止に

千里中央駅周辺が平成26年3月20日(木曜日)から路上喫煙禁止区域に指定されました。道路など屋外の公共の場所でたばこを吸うことや火のついたたばこを持つことが禁止となります。

ただし、道路などを管理する権限を有する者が設置、または設置を許可した喫煙場所は除きますが、区域内で路上喫煙をしている人がいた場合、職員が注意や指導を行うことになっています。

豊中市では阪急豊中駅周辺が平成24年10月に市内で初めて禁止区域に指定され、千里中央駅についても指定実施に取り組むよう進めてきました。今回の決定により、北摂最大のターミナル駅、千里中央地区もその評価にふさわしい駅となり、子ども達も安心して歩くことが出来ます。

今後は「分煙」をより分かりやすく確実なものとするため、喫煙指定場所の設置増にも努めます。現在、事業者組合の要請を受け、市の担当部局とともに取り組んでいます。



喫煙される皆様にはご理解とご協力よろしくお願ひ致します。

## ・・ 言いたい放題 ・・

民主主義と資本主義経済体制(現体制)のより良い進化をめざし、市民派無所属議員として、民間や地域での事業・活動経験を活かすとともに特定政党や利益団体の支援を一切受けずに活動してきた。街頭に立ち、「市政だより」を配布し、市民の皆様の多くの声を市政の場で**実現するのが使命**だと考えている。

これまで街頭に立った回数は覚えていないが配布した「市政だより」は100万枚をはるかに超え、実現した多くの施策や市にとっての課題はこれまで機会あるごとに報告してきた。➡

市民福祉の向上や市政の発展、市の利益に少なからず貢献できたと考えている。しかし、議員への批判は常に厳しく「パフォーマンスだけ、反対するだけでも成り立つ結構な仕事だ」との声は、結果を出す政治家にとっては悔しい限りで残念でならない。しかし、議員がこういう目で見られているのも一つの現実だ。

おりしも圧倒的実績の現職市長が三期目の総仕上げとして立候補を表明。対立候補が出るかどうかに関心の的だ。パフォーマンスや批判だけで民意を得られるなら、いや自らの実行力と市民を幸せにする自信があるなら候補者を出すべきだ。選挙の実施に金にかかるが「民主主義のコスト」と思えば理解もできる。試されているのは有権者も同じと思うのだが ……